

平成26年度調達改善計画の上半期自己評価の概要

計 画 内 容 (年 間)

取 組 実 績 等 (上 半 期)

教育、研究開発等の
委託契約の見直し

■ 文部科学省の施策目標毎の主要な事業に含まれる委託契約について、外部有識者を含む審査委員会による事前審査の実施

■ 事前審査の対象となった76件の委託契約について、外部有識者を含む審査委員会による事前審査を実施し、委託契約の必要性、効率性、公平性、透明性、競争性を確保

汎用的な物品・役務
の調達の見直し

■ 共同調達の実施(金融庁、会計検査院)
◇ 新規に共同調達を実施する案件について、
対前年度比1割程度の削減
◇ 目標類型: 14類型
◇ 目標契約金額: 311百万円

■ 共同調達による調達改善の実施
◇ 新規共同調達の実施案件: 対前年度比17.3%の削減
⇒ 削減目標を達成
◇ 調達実績: 13類型、約290百万円(残る1類型は下半期に実施)
⇒ 対前年度比約4百万円の削減効果
◇ 上記の他、計画にない図書についても共同調達を実施
⇒ 対前年度比約2百万円(16.5%)の削減効果

■ 競り下げによる調達の実施
◇ 目標類型: 9類型
◇ 目標件数: 30件
◇ 目標契約金額: 34百万円

■ 競り下げによる調達改善の実施
◇ 調達実績: 3類型3件、約2百万円(残る6類型は下半期に実施)
⇒ 299千円の削減効果(競り下げ開始価格と最終価格の差額)
(※例年、梱包発送や印刷物等(残りの6類型)の調達需要は下半期に集中しているため、引き続き競り下げによる積極的な調達コスト削減を目指す)

随意契約、一者応
札・応募の見直し

■ 競争性のない随意契約、一者応札等の見直し
◇ 内部監査組織による事前検証の実施
◇ 契約監視委員会等による事後検証の実施
◇ 随意契約理由等の公表

■ 競争性のない随意契約、一者応札等の見直しの実施
◇ 内部監査組織の日々の書面監査による事前検証、四半期毎に開催する契約監視委員会による事後検証により、
⇒ 競争性のない随意契約は真にやむを得ない事案に限定
⇒ 一者応札・応募は改善方策に基づく調達手続きを徹底
◇ 随意契約理由等の公表により、契約の透明性を確保

その他の取組

■ 出張旅費の効率化
◇ 旅費業務のアウトソーシングの実施
■ 国庫債務負担行為の活用
■ 調達予定情報の公表 等

■ 出張旅費の効率化の取組を推進
◇ 旅費業務のアウトソーシングによる業務負担の軽減
(※業務範囲を外国旅行の航空券手配等にも拡大して実施)
■ 複数年契約による調達事務の効率化(従来に加え新規2件追加実施)
■ 半期毎に調達予定情報(288件)を公表し、競争性を確保 等

◇ 目標の達成状況: 各取組とも年間計画の概ね過半を実施しており、計画どおり進捗